

八 枝

第2号

北九州市立八枝小学校

【学校教育目標】

思いやりの心をもち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

ようこそ 八枝小学校 本格始動です

4月14日（火）、第48回入学式が挙行されました。新1年生 74 名が、元気いっぱい、笑顔いっぱいで入学しました。今年度も6年生が在校生代表として、直接、お祝いのメッセージを伝えたり、校歌を紹介したりしました。全校児童508名で令和8年度八枝小学校のスタートです。本年度も、子どもたちにとって充実した1年になるように教職員一同頑張っております。ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 教職員の紹介

校 長	教 頭	教 務 主 任
あおぞら1組	あおぞら2組	おひさま学級
1 の 1	1 の 2	1 の 3
2 の 1	2 の 2	2 の 3
3 の 1	3 の 2	3 の 3
4 の 1	4 の 2	4 の 3
5 の 1	5 の 2	5 の 3
6 の 1	6 の 2	6 の 3
専 科 指 導	専 科 指 導	栄 養 教 諭
養 護 助 教 諭	事 務 職 員	事 務 補 助
事 務 補 助	教員業務支援員	特別支援教育学習支援員
外 国 人 A L T	学校図書館司書	校 務 員
スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	よろしくお願いいたします。

- ※ 特別支援教育コーディネーターは、が担当いたします。
- ※ 本校の学級の定員は、全学年 35 名（特別支援学級は8名）です。

あおぞら学級とおひさま学級について

折に触れ、お話をさせていただいておりますが、今年もご説明させていただきます。本校には、「あおぞら学級1組・2組」と「おひさま学級」の3つの特別支援学級があります。

人には、個性や特性があり、そして、自分にあったペースで成長していきます。一人一人の得意なことと苦手なこと、好きなことと嫌いなことが違います。これは当たり前のことです。特別支援学級では、子どもたち一人一人の特性に合わせて学習や生活を進めています。「あおぞら学級」は、少ない人数の静かな教室で勉強します。「おひさま学級」は、自分のペースでゆっくりと勉強します。支援学級以外でも、交流の学級でも勉強します。その交流学級で学ぶことが、あおぞら学級、おひさま学級の子どもたちにとっても、交流学級の子ともたちにとっても、互いに認め合い、共に成長する大切な機会となっています。どうぞ今後とも温かい心と目で、八枝小学校の子どもたちを見守り続けてください。よろしくお願いいたします。

裏面もご覧ください。

5月の行事予定

7	木	子ども読書の日の取組
8	金	歓迎集会・遠足
11	月	聴力検査(1年) 社会科見学(4年)
12	火	委員会活動 聴力検査(2年)
13	水	内科検診(3,6年)
14	木	色覚検査(希望者) 避難訓練(火災)
15	金	色覚検査(希望者) スクール救命士教室(6年)
19	火	クラブ活動 聴力検査(3年)
20	水	内科検診(2年、4年)
21	木	聴力検査(5年生)
26	火	学習参観(5校時) 学級懇談会(6校時)
27	水	内科検診(1年,5年)
28	木	リコーダー講習会(3年) 耳鼻科検診(1年,対象者) 家庭学習がんばり期間(5校時後下校)
29	金	家庭学習がんばり期間(5校時後下校)

八枝小学校

専科指導・持ち合い授業について

★ 専科指導

八枝小学校では、次の教科及び学年で専科指導を実施しています。専門的に各学級の学習に携わります。

3年 外国語活動、理科(一部)

4年 外国語活動、図画工作科、理科(一部)

5・6年 理科

★ 持ち合い授業

持ち合い授業とは、同じ学年の教員が担当する教科を決めて指導する学習形態です。1つの学級に複数の教員が関わることで、一人一人の児童のよさを多面的に見ることができます。また、より分かる授業を行うことにも繋がります。

複数の教員で指導することの意義は、以下のよう
に示されています。

- 1 授業の質向上
- 2 小・中学校間の円滑な接続
- 3 多面的な児童理解
- 4 教師の授業準備時間の確保

(文部科学省 R5.3)

なお、1・2年生は、1日の学校生活を担任と一緒に共に過ごしなが
ら、学校生活の基礎基本に慣れ親しんだり、学んだりすることが大切な学
年です。そのため、担任の指導を中心として、指導の充実を図っていきま
す。3年生も、子どもたちの様子を見ながら、徐々に導入していきます。

児童の心のケアを目的とした「心の健康観察」の継続実施について

一昨年度より、北九州市では、児童生徒の心をケアする取組の一環として、児童生徒の心の状態を日々観察するアプリ「心の健康観察」の活用をしています。今年度も家庭と学校とのつながりを大切にしながら、児童の不安に寄り添い、心のケアを第一に、サポートできる体制を整えてまいります。つきましては、今年度も引き続き、「心の健康観察」を活用し、児童の言動や教職員の目ではわからない小さなSOSを把握し、支援が必要な児童の早期発見し対応してまいります。